

団体ヒアリング

-団体ヒアリングで見えてきた課題等-

1. ボランティア連絡協議会

- ・ボランティア活動は楽しいが、役員が回ってくるのは勘弁してほしい。
- ・どこの団体も、新規加入者がいないため、平均年齢が上がってきた。
- ・情報交換、他団体との連携・ネットワークは必要だと思う。
- ・市民の参加意識が低いように思われる。
- ・人の心を変えるのはとても難しいが、ボランティアの必要性を理解してもらいたい。
- ・活動の拠点は、ハートピアがあるので安心。

2. 学童保育連絡協議会

すずめっこ学童クラブ

- ・活動を担う人材・マンパワー
- ・住民と行政の双方が意識を変えることが必要だと思う
- ・市の施策・事業に関する情報を積極的に公開する
- ・住民・地域の意見を聞く機会を充実させる
- ・地域の自主性に任せる事業を増やす（地域への事業委託、自主事業の拡大など）
- ・歩道の段差（特に切れ目）を解消し、高齢者、小さいお子さん（乳幼児時期、ベビーカーにのるくらい、歩き始め）に優しい歩道づくり

あひる学童クラブ

- ・活動を担う人材・マンパワー
- ・情報・他団体との連携・ネットワーク
- ・住民と行政の協働意識としてどちらか一方の意見に左右されないこと
- ・学童保育に関しては、親の要望ばかりに目を向けがちですが、現場で働く者の意見、想い、現状をきちんと伝える機会を大切にいただけると有り難いです。働く親のニーズは様々で要求はどんどん大きくなっていくと思います。園の無償化で、現場は更に大変になっていくと感じます。その流れで学童も同じ様な考えに流れてほしくないです。親と子の時間を確保していく、子どもが早く親の元に帰れるような支援ができるといいです

つばめ学童クラブ

- ・活動を担う人材・マンパワー
- ・構成員の高齢化
- ・情報・他団体との連携・ネットワーク
- ・ホタルを育成研究されている方の協力のもと、毎年ホタルの鑑賞会・勉強会を行っている。
- ・毎年行うことで、児童・保護者のホタルへの関心が高まり、育成への理解・協力へとつながっている
- ・住民と行政の双方が意識を変えることが必要だと思う
- ・地域活動団体同士の交流促進や研修を行う
- ・住民・地域の意見を聞く機会を充実させる
- ・ボランティア団体・NPO等の団体・組織の育成・支援を充実させる

ぺんぎん学童クラブ

- ・活動を担う人材・マンパワー
- ・情報・他団体との連携・ネットワーク
- ・公民館行事や文化祭等に参加・協力させていただく中で、保護者や子ども達が地域とふれあう（関わるができる）
- ・住民と行政の協働意識として稲津町の中で双方が前向きに進められていると思う
- ・地域活動団体同士の交流促進や研修を行う
- ・ボランティア団体・NPO等の団体・組織の育成・支援を充実させる
- ・公園等子ども達が、遊び安心して過ごせる場所づくりもまちづくりの1つとして考えてはどうか。

かるがも学童クラブ

- ・活動を担う人材・マンパワー
- ・町全体で子どもの成長を見守る
- ・地域活動の拠点を充実させる（公民館・集会所等の機能充実など）
- ・地域活動団体同士の交流促進や研修を行う
- ・住民・地域の意見を聞く機会を充実させる

ひばり学童

- ・ 活動の財源確保
- ・ 活動を担う人材・マンパワー
- ・ 行政（職員）の意識を変えることが必要だと思う
- ・ 地域活動の拠点を充実させる（公民館・集会所等の機能充実など）
- ・ 市の施策・事業に関する情報を積極的に公開する
- ・ 住民・地域の意見を聞く機会を充実させる
- ・ 教育に力を入れる自治体であれば、指導員の配置等すべて自治体で管理・運営してほしい。
- ・ 季節学童とはいえ、上記の負担を保護者が行わず市内学童保育の中でばらつきのない環境を確保してほしい
- ・ 自治体で制度化してもらって直営の学童保育をお願いしたいです。

ひまわりハウス（NPO法人東濃こどもレスキューミッションJスペース）

- ・ 活動の財源確保
- ・ 活動拠点・施設の設備
- ・ 学校後の時間の過ごし方に安全を提供できている
- ・ 住民と行政の協働意識として協働意識を持っている
- ・ 住民・地域の意見を聞く機会を充実させる
- ・ 行政とよりよくするための話し合いができるとうい

3. 瑞浪市子ども会連合会

- ・ 活動の財源確保
- ・ 活動を担う人材・マンパワー
- ・ 活動拠点・施設の設備
- ・ 子どもが参加することによって地域が盛り上がる
- ・ 子どもたちも地域とのつながりができ、地域愛につながる
- ・ 住民と行政の双方が意識を変えることが必要だと思う
- ・ ボランティア団体・NPO等の団体・組織の育成・支援を充実させる
- ・ 少子化による子ども会の存続（特に単位子ども会）
- ・ 子どもが少なく活動が困難
- ・ ジュニアリーダーの育成（現在0人）

4. 瑞浪市子ども発達支援センターぽけっと親の会

- ・ 地域での子育てや生活が充実するように
- ・ 親の会や支援センターが地域の人たちに理解されるように
- ・ 住民と行政の双方が意識を変えることが必要だと思う
- ・ 市の施策・事業に関する情報を積極的に公開する
- ・ 住民・地域の意見を聞く機会を充実させる

5. 瑞浪市長寿クラブ連合会

- ・ 活動の財源確保
- ・ 活動を担う人材・マンパワー
- ・ 役員のなり手が無い
- ・ 社会貢献により生きがいを感じることができる
- ・ みんなで集まり、活動することによってコミュニケーションがとれる
- ・ 各まちづくりとの活動による美化活動
- ・ 住民と行政の双方が意識を変えることが必要だと思う
- ・ 住民と行政の協働に必要なこと、活動状況を行政から発信する
- ・ 高齢者の方が集まるときに交通が不便なため、免許返納等により、集まるための手段が少ない。
- ・ 高齢者が外へ出る機会が減少、参加しにくい

6. 社会福祉協議会支部連絡協議会

- ・ 支部長の後任がない
- ・ 福祉委員が名前だけになって参加してくれない
- ・ 他団体との協力体制
- ・ 高齢者が増え、地域ぐるみで助け合う必要性はわかっているが、体制が作れない
- ・ 市民の参加意識
- ・ 福祉委員の高齢化（65歳以下は仕事を持ち活動できない）
- ・ 個人情報への壁
- ・ 活動のマンネリ化
- ・ コミュニティセンターがない地区は拠点がない。

- ・社協がもう少し手を貸してほしい（事務的なこと）
- ・社協主導で引っ張ってほしい

7. 瑞浪市手をつなぐ育成会

- ・活動を担う人材・マンパワー
- ・構成員の高齢化
- ・会員の減少
- ・団体の啓蒙活動
- ・常に協働意識の改善は必要
- ・地域活動団体同士の交流促進や研修を行う
- ・市の施策・事業に関する情報を積極的に公開する
- ・ボランティア団体・NPO等の団体・組織の育成・支援を充実させる

8. 瑞浪市民生委員・児童委員協議会

- ・活動のマンネリ化
- ・活動を担う人材・マンパワー
- ・情報・他団体との連携・ネットワーク
- ・地域住民と知合いになる
- ・地域住民の情報を集め
- ・地域活動の拠点を充実させる（公民館・集会所等の機能充実など）
- ・住民・地域の意見を聞く機会を充実させる
- ・避難行動要支援者名簿を機能させる
- ・避難行動要支援者名簿を使った防災訓練

9. 瑞浪市身体障害者福祉協会

- ・活動を担う人材・マンパワー
- ・構成員の高齢化
- ・住民の意識を変えることが必要だと思う
- ・住民・地域の意見を聞く機会を充実させる
- ・協会への加入者が少ない
- ・年々会員数が減っている
- ・協会役員の担手がいない
- ・身体障害者の方の情報がない

10. レインボーハート

(16~20 歳くらいの障がい児の母親)

- ・子どもたちの働く場所がない
- ・健常者と一緒に働く場所
- ・丁寧に教えてもらえばできることはたくさんある。
- ・市役所や社協が率先して障がい者を雇用してほしい(身体障がいだけでなく、知的や精神でも得意分野がある)
- ・グループホーム(サ高住の障がい者版)など
- ・親亡き後の心配。不動産などの財産(山・田んぼ)を子どもに残しても維持できないのでどうすればいいか?
- ・運転免許証が取れないので移動手段に困る。デマンドバスは家まで来てくれない

知的障がいでも使いやすいバス

- ・コミュニティーバスが電車の時間と合わないので利用しづらい
- * 行政や誰かが作ってくれたところに通いたい。自分たちで作ろうという考えはない。

(タンポポ作業所の話が出て、自分の子どもが活動できる場所を作りたくてという思いが始まりだという言葉も出たが・・・)